



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日 東

上場会社名 ナカバヤシ株式会社 上場取引所
 コード番号 7987 URL <http://www.nakabayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 辻村 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 作田 一成 (TEL) 06-6943-5555
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,300	9.3	298	—	431	—	65	—
27年3月期第1四半期	11,257	△0.5	△140	—	0	—	△28	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 325百万円(386.0%) 27年3月期第1四半期 67百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	1.17	—
27年3月期第1四半期	△0.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	50,606	21,824	40.9
27年3月期	51,961	21,667	39.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 20,692百万円 27年3月期 20,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,700	4.2	70	△21.5	230	△19.3	300	108.2	5.39
通期	56,000	4.6	1,500	11.5	1,800	8.3	1,200	28.2	21.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	61,588,589株	27年3月期	61,588,589株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	5,890,927株	27年3月期	5,890,271株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	55,697,895株	27年3月期1Q	55,704,137株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期 連結累計期間	平成28年3月期 第1四半期 連結累計期間	増減額
売上高	11,257	12,300	1,043
営業利益又は営業損失(△)	△140	298	439
経常利益	0	431	430
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	65	94

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策などにより企業収益や雇用環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、受注部門ではデータプリントサービスの事業領域拡大に伴う新たな付加価値の創造に取り組むとともに、図書館ソリューション事業や手帳事業などの受注拡大に注力いたしました。製品販売部門では引き続きノート、アルバム等の新製品の開発・販売、ネット販売の強化、海外市場の開拓に取り組みました。製造面は国内工場、中国・ベトナム工場の効率化を図りコスト低下に努めました。

新規事業といたしましては、連結子会社である松江バイオマス発電株式会社が平成27年4月に点火式を行い、6月より本格稼働しております。また、同じく連結子会社である兵庫ナカバヤシ株式会社は関宮分工場内に設置した完全人工光型植物工場にてレタスの栽培、販売を開始しております。

なお、平成27年6月より新事業の紹介や「ロジカル・エアーノート」の新テレビCMを投入するなど、当社グループ及び製品の認知度向上に努めました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比9.3%増の123億円となりました。

利益面では売上高が増加し原価率も低下したことから、売上総利益が増加いたしました。販売費及び一般管理費は増加しましたが、営業利益は2億98百万円（前年同四半期営業損失1億40百万円）となり、営業外収益も増加したため、経常利益は4億31百万円（前年同四半期経常利益0百万円）と増益となりました。

また、特別利益は補助金収入4億61百万円など合計で4億70百万円を計上し、特別損失は減損損失5億52百万円など合計で5億55百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の親会社株主に帰属する四半期純利益は65百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書館ソリューション部門においては、二次元カラーコード（カメレオンコード）を利用した蔵書管理システムの導入や公共図書館等からのアウトソーシング事業の受注拡大に取り組みました。データプリントサービス部門はBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業の受注が拡大し好調に推移いたしました。手帳部門におきましては、引き続き年玉手帳や市販手帳の受注拡大、新規販路の開拓に努めました。

この結果、当事業の売上高は59億75百万円（前年同四半期比12.4%増）、営業利益は2億9百万円（前年同四半期営業損失1億21百万円）となりました。

②ステーションナリー関連事業

新テレビCM投入等による「ロジカル・エアーノート」の拡販、各種アルバム等の新製品の開発、ネット販売の強化や海外販路の開拓などに注力いたしました。一方で、円安の影響もあり商品構成の見直しを実施するなど採算性の向上に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は29億80百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は42百万円（前年同四半期営業損失90百万円）となりました。

③環境事務機器関連事業

シュレツダはマイナンバー制度も控えており、大手民間企業を中心に販路拡大に注力するとともに、東北地区の復興需要にも積極的に取り組みました。また、オフィス家具のネット販売は商品の一層の充実を図り順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は13億61百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は79百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

④PC周辺機器関連事業

家電量販店やネット・通販向け商品の拡充など個人ユーザー向け商品の充実を図るとともに、各種ケーブルなど法人ユーザー向け商品の拡充にも注力し販路の拡大に取り組みました。ケーブル、マウス、タッチペン、保護フィルムなどの販売が引き続き順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は8億54百万円（前年同四半期比17.0%増）、営業利益は50百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

⑤ベビー&シルバー関連事業

チャイルドシートは新製品開発に伴う設備投資負担及び円安による原価率上昇等により採算面は厳しい状況が続いております。メディカル部門は病院向けに点滴スタンドなどの販売が堅調に推移いたしました。ケアリング部門は依然厳しい状況にあります。

この結果、当事業の売上高は4億8百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業損失は58百万円（前年同四半期営業損失12百万円）となりました。

⑥その他

その他は、連結子会社のウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業、日本通信紙株式会社が営むアウトソーシング事業、松江バイオマス発電株式会社が営む発電事業等であり、売上高は7億21百万円（前年同四半期比22.8%増）、営業利益は39百万円（前年同四半期比89.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14億77百万円減少し、239億37百万円となりました。これは商品及び製品が3億64百万円、仕掛品が2億58百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が17億70百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億21百万円増加し、266億68百万円となりました。これは投資有価証券（投資その他の資産の「その他」）が1億70百万円増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて13億55百万円減少し、506億6百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15億39百万円減少し、170億76百万円となりました。これは未払金（流動負債の「その他」）が7億61百万円、未払法人税等が3億59百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27百万円増加し、117億5百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が59百万円、長期借入金が33百万円それぞれ減少しましたが、繰延税金負債（固定負債の「その他」）が1億27百万円増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて15億11百万円減少し、287億81百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億56百万円増加し、218億24百万円となりました。これは、利益剰余金が1億1百万円減少しましたが、非支配株主持分が1億37百万円、その他有価証券評価差額金が1億26百万円増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.9%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,936	6,155
受取手形及び売掛金	10,698	8,927
商品及び製品	4,653	5,017
仕掛品	550	808
原材料及び貯蔵品	1,319	1,483
その他	1,258	1,545
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	25,414	23,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,995	5,883
機械装置及び運搬具(純額)	2,841	5,439
土地	10,834	10,311
その他(純額)	3,228	198
有形固定資産合計	21,900	21,831
無形固定資産		
のれん	248	219
その他	686	636
無形固定資産合計	934	855
投資その他の資産		
その他	3,725	3,995
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	3,711	3,981
固定資産合計	26,546	26,668
資産合計	51,961	50,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,359	6,263
短期借入金	6,542	6,234
未払法人税等	501	141
賞与引当金	649	414
その他	4,563	4,022
流動負債合計	18,615	17,076
固定負債		
長期借入金	7,537	7,503
退職給付に係る負債	3,744	3,685
その他	395	516
固定負債合計	11,677	11,705
負債合計	30,293	28,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	5,782	5,681
自己株式	△1,339	△1,339
株主資本合計	19,849	19,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556	682
繰延ヘッジ損益	60	54
為替換算調整勘定	117	117
退職給付に係る調整累計額	89	89
その他の包括利益累計額合計	823	944
非支配株主持分	994	1,131
純資産合計	21,667	21,824
負債純資産合計	51,961	50,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	11,257	12,300
売上原価	8,491	9,100
売上総利益	2,765	3,200
販売費及び一般管理費	2,906	2,902
営業利益又は営業損失(△)	△140	298
営業外収益		
受取配当金	29	58
受取保険金	99	61
その他	74	89
営業外収益合計	202	209
営業外費用		
支払利息	23	23
為替差損	20	—
試運転費用	—	33
その他	17	19
営業外費用合計	61	76
経常利益	0	431
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	2	9
補助金収入	—	461
特別利益合計	2	470
特別損失		
固定資産処分損	1	2
投資有価証券売却損	0	0
減損損失	—	552
その他	—	0
特別損失合計	1	555
税金等調整前四半期純利益	1	345
法人税、住民税及び事業税	51	122
法人税等調整額	△19	22
法人税等合計	31	144
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30	201
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	135
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	65

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30	201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	130
繰延ヘッジ損益	△17	△6
為替換算調整勘定	△5	0
退職給付に係る調整額	26	0
その他の包括利益合計	97	124
四半期包括利益	67	325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67	186
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。